

# おお大勝利

平成 21 年度山東サッカー部報第 11 号 (7 月 14 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 早くもYリーグ2勝目

7月11日(土) 山形市スポーツセンターにてYリーグ1部の第6節(山東にとっての第5戦)が行われました。相手は山商。今年にかぎり山商の3年生のほとんどが引退したため、新人チーム同士の対戦。前日10日(金)に野球部が山商に対して5-4延長11回の激闘で勝っているため、サッカー部も続きたいところ(応援に来てくださった奥山OB会副会長からも、そのような訓辞をいただきました)。

立ち上がりは山商ペース。山商はトラップ際のフェイント、パスのフェイント等を積極的に行い、技術の高さを感じさせる。特に1年生FWが最終ラインの前のスペースで組み立てに参加することができ、高い位置でのボールポゼッションを可能にしている。対して山東は攻撃陣に馬力はあるが雑なプレーが多く、肝心のところでイージーミスが目立ち、シュートまで至らない。前半は五分五分の展開。そんな中、前半40分、右サイドで賢祐がドリブルで抜け出し、FW松永がニアサイドでスルーしたボールを、左から突っ込んできた「チョロキュー」のような嶋貫がスライディングシュート(しかも利き足の左足)。それがゴール左隅にうまく決まり、山東先制。得点の時間も好都合。

後半も一進一退ながら山商ペースか。そんな中、左サイドからのスローインになった際に、近くにいた孝祐がボールを持ち上げる。「行け」という合図の後、敵の裏のスペースに放り込んだロングスローが、合図を受け裏に走りこんだ藤盛にドンピシャ! 敵DFは完全に裏を取られ、藤盛はGKと余裕の1対1。とはいえ緊張するものだが、妙に落ち着いて見えた藤盛が難なく決め、2-0。試合の内容的には五分五分ながら得点だけ入る展開に、顧問もほくそ笑む。

だが、そこから山商の怒涛の反撃を受ける。山商の屈強かつスキルあるDFが前線にポジションを上げ攻撃の起点になり、最終ラインでいよいよ本領を発揮する山商1年FWが再三突破を試み、山東は防戦一方に。サイドから崩され、中央でフリーで打たれたシュートが、ポストに当たったりバーを越えたり山東GKのファインセーブにあたりと、山東としては「ラッキー」な形から失点を免れる。「今日がついてるなあ・・・だけこのまま無失点で行けるのか」などと不安に思っていた矢先、左サイドからドリブル突破を許し、深いマイナスのボールをフリーで打たれ、ゴールイン。2-1に。その後も攻め込まれるも、前線に上がった山商DFの素晴らしいミドルシュートがポストを叩くなど、山商にとって不運な展開が続き、そのままタイムアップ。後半は苦しい展開だったとはいえ、最後の方では、残り15分で出場した桂木が左サイドで快速を飛ばし、2度相手GKと1対1になるなど、見せ場も作りました。

ともかくも、新人チーム2勝目。負けて学ぶこともありますが、勝って学ぶことも大きい! いったんペースを握られるとズルズルとってしまう点などを改善して、7月18日(土)の日大山形戦(日大グラウンド、10:00キックオフ)に臨みます。